



# 双松会会報

第24号「双松会」通巻28号「松高北高同窓会報」通巻28号

発行 松江市奥谷町164

島根県立松江北高等学校内 双松会事務局 TEL: 21-4888・21-0655

FAX: 21-4977

印刷 株式会社島根県農協印刷

TEL: 21-3476

青春グラフィティ Vol.1

第24期(昭和48年卒)

## 遠足のおもいで

六月に十数年ぶりの同窓会を開きました。そのとき話題になったことです。私のクラスは女子が三人のみでした。

活動的な級友が、女子の多いクラスが遠足の行き先を立久恵峽に決めたことを聞きつけ、自分のクラスの行き先を強引に立久恵峽にしたそうです。当日はバスにビールを持ち込み現地と一緒に飲もうと計画したが、うまくいかず、結局帰りのバスの後ろの方で飲んだ……などのおもいでを披露していました。

この写真は相手のクラスが楽しそうに遊んでいるところです。自分たちは何をしていたか思い出せませんが、川にむかって石でも投げっていたの

でしょう。四〇〇人も男女が三年間ひとつ屋根の下に学びました。同級生同士めでたくゴールインしたのは二組だそうです。ふん……



▲秋の遠足(立久恵峽にて)



菊池 耕三

今回の同窓会は私が発起人として計画しました。郵便や電話のほか、ITを活用しました。まず同窓会のホームページをつくり出席状況やコメントを紹介しました。メールリクエストや掲示板への書き込みも案内しました。ネット上の再会やメールのやりとりがにぎわっていました。同窓会の出席者からデジカメの写真やメールを送ってもらい、二〇〇枚以上の写真をホームページにのせています。現在同期生のメールリクエスト登録者も一〇〇人を超えました。盆にはメールリクエストへ呼びかけがありピアガーデンへ集まりました。同窓会の掲示板もいまだに続いています。

北高二四期生の皆様へ  
投稿者…きよんきよん  
投稿日…6月9日(月)  
松江は今週にも梅雨入りの予想でむし暑い毎日です。  
この度、卒業三〇周年記念の同窓会を！という嬉しいご提案に、喜んでお手伝いをさせて頂きたく、手を上げたきよんきよん です。  
紅顔の美少年だった貴方も、お下げの美少女だった貴方も、三〇年の間、各々のドラマの主役を演じきって、やがて迎える五〇代……  
この厳しい状況の中、職場においても、家庭においても、「?!?!?!」という場面ばかりですよね。この先は特にそうかな？  
そんなときに、やはり持つべきはネットワーク！  
高校の時は、話したことも無かったという方々とも、これからの付き合い合いを、楽しみにしましょう。  
目指せ！おかげ天神で合コンを！  
P.S. 皆様の声を、このボードに！ きよんきよん  
会報の一面に寄稿するのは、私自身感激ものです。恥ずかしながらのホームページもご覧ください。URLは  
www.nable.ne.jp/aozora/  
写真と掲示板、メールリクエストで構成しています。



# 退任あいさつ

前会長

井戸内

正

去る七月十九日の双松会の役員会において私の切なる願いをご理解を頂き会長を退任いたしました、後任には松本幹彦氏のご就任になりました。

松本幹彦氏は本県教育界において活躍し大きな功績をのこされ、特に本校の校長として質実剛健の精神を根底に捉え、文武両道に徹する心豊かであられました人間育成と師弟同行の実践に努め、北高教育の振興にご尽力になりました立派な指導者であります。

今後、松本幹彦会長を中心にして本会が更に発展することを期待いたしております。かつてある大先輩と懇談した折のお話を私は忘れることができません。

母校には勿論、恩師はなく、校舎も近代的な建物に変わつた。ただ老いた二本松だけは、今なお厳然とその雄姿を残している。この老松がある以上、我々が母校を慕う心は消えないであろう。私は今さらながら双松の存在価値を身にしみて感じている、と話された。

に感慨無量なものがありました。

私は生徒諸君に「赤山台上において第二世の若松がすくすくと成長し、二十一世紀、二十二世紀には、再び生徒諸君に質実剛健のシンボルとして敬愛されるであります」と話しました。

創立百二十五周年記念大会は十一月十七日にホテル一畑で盛大に開催され、記念パーティーはお互いに旧交を温め、新たな出会いなどもあつて和氣藹々の楽しいパーティーとなつたことを喜んでいきます。三年後の創立百三十周年記念大会にもお互いに元気で参加いたしたいものと念願しています。

平成十四年三月二十九日に行われた春の選抜野球大会における本校と福井商業高校との激闘は、半世紀以上の時を経て出場を待ち焦がれた熱い思いが爆発したかのようになり、強豪を相手に一歩も引けを取らぬ戦いぶりを目の当たりにして、三塁側を埋めつくした六、〇〇〇名を超える大応援団は熱狂しました。

私は年のせいでしょうか、

唯々感泣するばかりでありました。

顧みれば微力な私が約四十年間にわたり双松会の要職を務めさせて頂く機会にめぐりあうことができ、特に会長としてのこの三ヶ年間は悲喜こもごものことがございましたが、大過なく終えることができましたことは望外の喜びであります。

これも偏に、諸先輩、同窓の皆さん、歴代校長先生並びに諸先生の温かいご指導とご協力の賜であります。ここに、謹んで衷心より感謝申し上げます。

母校が質実剛健、文武両道の風の来るを続けて遠きに致すことを心からお祈り申し上げます、ごあいさついたします。



## 松籟

先日テレビのクイズ番組で日本の県名を当てるものをやっていた。その中で、日本にはよく忘れられる県があつて、それが鳥根県と鳥取県というコメントがあつた。妙に納得する一方で少し淋しい思いもした。

ずっと昔、地図を見てそれを書き写したり、目新しい地名を覚えるのに熱中した頃があつた。海岸線を鉛筆でたどり、色鉛筆で平野や山地の色を塗り分けるとき、大きな町の名前を書き込むとき、不思議な胸のときめきを覚えたものである。どんな人々がどんな毎日を送っているのだろうか、自分と同じくらいの子供達はどんな遊びをしているのか。外国であれば、想像はもっと漠然としてとりとめもないものになつていったが、ときめきは不思議に強くなるのだった。

高校に入学して二期期の中間テスト明けに夜汽車で兵庫県の豊岡に行ったことがある。その頃豊岡の町の郊外には数少なくなつたコウノトリがゲージに保護されていたのだ。事前に訪問の意を告げ、参観の可否を問うといった知恵は田舎出しの少年にあるはずもなく、結局、くちばしをたたいて出す鳴き声(う)を聞いて、町に引き返すしかなかった。

但馬の田舎町は少年にはよそよそしく、彼は駅前にあつた映画館に逃げ込んで時間を潰すしかなかった。その時見たのが「モーヌの大将」という、妙に気になる映画だった。滅多に買うことのない解説パンフレットを買い、原作がアラン・フルニエの小説「ル・グラン・モーヌ」であること、女主人公のイヴォンヌ役を演じていたのがブリジット・フォッセイという女優で、あの「禁じられた遊び」の女の子であつたことなどを知つた。旅の記憶はその後ぶつんと消えている。たぶんその日の夜松江に帰つて来ていたのだろうか、はつきりしない。「ル・グラン・モーヌ」が心の大部分を占めてしまつていた。

人恋しかつたのだと思う。それも初めての一人旅で感傷は更に増幅されていたのだ。しかし、その感傷にその後の自分が何らかの影響を受けなかつたはずはない。人はそうして自分の行路をたどつていくものだと思う。

初めの話に戻る。「最近の若者が県名を知らなかつたり、取り違えるのは関心が身近なものに限定されがちであり、それ以外のものに余り興味を示さない傾向の反映であろう。」どこかの大学教授が解説していた。

私はというと、三十年も前のけなげな青々しい断片に限りないとおしきさを感じていた。



# 新任あいさつ

新会長

松本幹彦

双松会会員の皆様にはますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

昨年度は「双松会報」発刊にかかわる諸経費の援助をお願いしましたところ、多数の皆様からご拠出をいただき、誠にありがとうございました、厚く御礼申し上げます。

これまで高邁なご識見、強力なリーダーシップのもとに、円滑に双松会を運営してこられた井戸内正会長が、去る七月十九日に開催されました役員会におきましてご退任の意向を表明されました。翻意を強くお願いしましたが辞意が固く、誠に残念ではありますが退任されることになりました。今後は顧問として引き続きご指導いただくことになり

ます。井戸内会長の後任として不肖私が選任されました。これまで井戸内会長が成し遂げられた卓越したご業績を引き継ぐにはあまりにも浅学非才ではございますが、誠心誠意その職責を全うする所存でございますので、ご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。私は松江高校一期(新制高

校二期)の卒業生で、戦中戦後の六年間赤山で学び、昭和二十五年三月卒業しました。二十三年、中学四年を終了した私たちは、学制改革のために松江第一高等学校二年に編入されました。ただ、私たちの学年は高校二年(中学五年)を終了する二十四年三月に、希望すれば松江中学の卒業生として卒業することもできました。この時に卒業した方が松江中学最後の卒業生となる六十九期生です。このように私たちの同期生には松江中学と松江高校の両方の卒業生がいるわけで、旧制中学から新制高校への橋渡しをした期と言えましょう。

すがいささかでも恩返しができるかと思っております。創立百三十年を間もなく迎える長い歴史と伝統を誇る母校だけあって、双松会員の総数が三万五千人余と大所帯であります。これからますます拡充発展する双松会の実質的な運営を担うに相応しいのは、北高を卒業した皆さんではないかと思えます。それは、松江高校の二分化によって新たに誕生した松江北高、その第一期卒業生(松高三三期・三十七年三月卒)の皆さんが、今年には還暦、そんな年齢になっておられるからであります。在校生の諸君の活躍は本当にすばらしいと思えます。「質実剛健」の精神を根底に据えて、文武の両面に真摯な姿勢で意欲的に取り組んでいることから、大学進学の成績も、質量ともに見事なものでありますし、部活動も県高等学校総合体育大会での男女総合優勝、文化部のレベルの高い活動等々立派な結果を出しています。さすがが母校と、誇らしい思いがいたします。生徒諸君が、今後の国際社会の豊かな進展に寄与できる人間に育ってくださることを期待するものであります。

今後長い歴史と輝かしい伝統を誇る母校並びに双松会のさらなる発展のために微力を尽くしてまいります。また、同窓会の連絡や催し物の紹介等があれば紙面を利用して下さい。

## 事務局だより

「会員の方々の提言・投稿の依頼について」

会報については関係各位よりさまざまなご意見が寄せられ、より斬新で読みやすいものの制作が迫られている所でもあります。

つきましては、具体的なお提言や投稿がありますれば、事務局宛に一言(手紙にても電話にても可)いただければ、それを参考にしたり利用させていただきます。

また、同窓会の連絡や催し物の紹介等があれば紙面を利用して下さい。

「会報の一世帯一通の送付のお知らせ」

会報発行にかかわる経費の

うち、送料がその大半を占めていることについては、昨年援助をお願いした際にもお知らせしたとおりです。

現在、一会員一通でお送りしておりますが、中には一世帯に複数の会員が居られるケースも多々あります。そこで、経費節減のため一世帯につき原則として一通の送付にすればどうかという提案がなされました。同一世帯三人までは一通(四、六人までは二通)で回覧していただくようになりますと、現在より約四十万円の経費節約が可能となります。

つきましては、今回の会報は従前通り一会員一通送付致しますが、次回からは一世帯三人までは一通を送付し、その際、宛名は卒業期の早い方宛とさせていただきます。

なお、事情により今まで通りに送付して欲しいという方は、事前にその旨事務局の方にご一報いただければ善処したいと存じますのでよろしくご了承下さい。



# 松江北高の現況

校長 和田秀穂

双松会会員の皆さま方には日頃から松江北高に温かい御支援、御協力を賜り大変有難うございます。紙面を借りて厚くお礼を申し上げます。最近の学校の状況をお伝えします。

## 一、多目的練習場建設と部室の改築

去る三月十二日、野球場の北東の一角に「センバツ野球大会出場記念多目的練習場」(縦三四m、横一〇m、高七m)が完成し、井戸内会長から鍵の引渡しを受けました。これを二〇〇二センバツ出場の記念碑として位置付け、野球部員はもとより全校生徒で末長く活用したいものです。これに加え、弓道部(男・女)とサッカー部屋の新設及び各運動部室の改修が完了しました。これにより安全で快適な練習環境となり、大変喜んでいきます。これもセンバツ出場の際にお寄せいただいた多額の寄付金を使わせていただき実現できたことです。生徒ともども深く感謝いたします。

## 二、進学状況

この三月の大学等進学状況は、国公立大学合格者三二六

名、私立大学合格者四一七名、短大合格者九三名でした。東大五名、京大三名を始めとして難関大とよばれる大学への合格者は四五名でした。今年の特徴として、医学部医学科合格者が国立大一四名、公立大一一名、私立大三名と大変多かつたことがあげられます。本当によくやりました。

## 三、活発な部活動

県高校総体が五月下旬から県内各地で開催され、北高からは約五〇〇名もの大選手団が参加し、よく奮闘して「一七度目の男女総合優勝」を達成しました。昨年度、優勝を松江南高に奪われてから丸一年間、臥薪嘗胆の覚悟で各部門とも厳しい練習に励んできました。今回の優勝は全校一丸となって勝ち取った、価値ある大勝利です。その結果八月に長崎県で開催されたインターハイ「長崎ゆめ総体」にボート部、テニス部、陸上競技部、水泳部、バドミントン部、空手道の計四七名の選手が出場しました。

一方、文化系の各部も活発で、六月には今回で第二五回の節目を迎えた恒例の「定期

演奏会」が県民会館で盛大に開催され、合唱部、吹奏楽部、箏曲部の演奏は会場一杯に詰めかけた観客の熱烈な拍手を受けました。また、七月に第七回県高校総合文化祭が県民会館で開催され、日頃の活動の成果を披露しました。本校からは合唱部、箏曲部、考古学部が参加し、写真部、書道部、美術部も作品を展示し沢山の参観者を得ました。

## 四、結びに

このように、本校では今年度も学習活動や部活動が順調に行われています。この伝統ある松江北高が今後とも変わらず発展していくためには、諸先輩方の御理解と御支援が絶対に必要です。そのためにも我々教職員一同は、双松会と十分な連携を保ちつつ、先輩、保護者、県民、そして地域社会から信頼される学校づくりに邁進し、二十一世紀の日本や世界に貢献できる「生きる力」を持つ、たくましい人づくりに邁進しますので、今後とも変わらず母校を温かく見守って頂きますようお願い申し上げます。

## 双松会各支部より

双松会は東京に「東京双松会」、大阪には「近畿双松会」、米子には「米子双松会」などがあり、それぞれ独自にさまざまな活動をしています。転勤や就学で当該の地域に居住することがあれば是非連絡を取って活動に参加してみても如何でしょうか。思わぬ経験や人の輪の広がりが得られるかも知れません。それぞれの連絡先は次の通りです。

### 東京双松会連絡先

〒三四〇一〇〇五三  
埼玉県草加市旭町四一三三三  
TEL 〇四八一九四二一六八八  
木佐(方)

### 近畿双松会事務局

〒五五〇一〇〇〇二  
大阪市西区江戸堀二丁目二一三五  
(株)トヨーコーポレーション内  
TEL 〇六六四四三二二〇六二

### 米子双松会事務局

〒六八三一〇〇五三  
米子市明治町二三四 米子ホテル内  
TEL 〇八五九一三三二一五三  
FAX 〇八五九一三三二一五三

### 東部双松会連絡先

〒六九二一〇〇一一  
安来市安来町大市場一六五九一  
松江や書店(松本東一郎)  
TEL 〇八五四一三二二四二四

### 大田双松会連絡先

〒六九四一〇〇六四  
大田市大田町大田八一四五  
TEL 〇八五四一八二一〇三六  
清水 雅久

## 「双松会会報」の発刊にかかわる諸経費援助のお礼

昨年本会報紙上にて「会報」発行にかかわる諸経費の援助をお願いしたところ、四、六〇〇名を上回る会員の皆様から四三〇万円余(平成十五年五月現在)のご厚志が寄せられ誠に有り難く、感謝申し上げます。

このご厚志は、今後三カ年に涉って、会報の作成・発行にかかわる経費の補助として有効に利用させていただきます。紙面づくりにさらなる工夫をし、以前にも増して皆様に読み親しんでいただくことを目指すと共に、経費的にも切りつけられる所は更に切りつけていくという方針で会報づくりを進めるよう、担当者には指示したところであります。

本来ですと、ご支援を賜りました会員のお一人お一人にお礼を申し上げるべき所とは存じますが、別に芳名一覧表をお送りすることで、それに代えさせていただきます。最後にになりましたが、今回のご支援に対し改めて御礼を申し上げますと共に、今後とも皆様には双松会に対し、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い致します。

平成十五年八月  
双松会会長 松本 幹彦

# 北高生の活躍

## 第四一回島根県高等学校総合体育大会結果報告

五月二十四日から六月一日(月)まで、県内各地を会場に第四一回島根県高等学校総合体育大会が行われ、北高生らしい深刺とした戦いぶりや、会場一杯に響き渡る応援は私達に感動を与えてくれました。また、今年は悲願の男女総合優勝(二七回目)奪還が達成されました。

### 総合成績

#### 〈男女総合Aグループ〉

- 1位 松江北高等学校 204点
- 2位 松江南高等学校 195点
- 3位 松江商業高等学校 144点

#### 〈男女別Aグループ〉

- 男子
- 1位 松江南高等学校 118点
  - 2位 松江北高等学校 97点
  - 3位 松江工業高等学校 78点
- 女子
- 1位 松江北高等学校 107点
  - 2位 松江商業高等学校 100点
  - 3位 出雲高等学校 88点

## 全国大会の結果報告

### 長崎インターハイ

#### ●陸上部

- (7/26)8/3・長崎市総合運動公園
- 走高跳 池本 将大(10R) 8位入賞
  - 走幅跳 清水 悠(24R) 予選敗退
  - 200m 永田 知子(4R) 準決勝敗退
  - 4×100mリレー
  - 河野(18R)、永田、楠井(10R)、小林(9R) 予選敗退
  - 4×400mリレー



#### ●男子テニス部

- (7/25)8/3・長崎市運動公園
- 個人単
- 星村(11R) 3・8 西海(栃木、足利大附)
  - 井原(5R) 6・8 河合(福井、藤島)
- 複
- 星村(竹下)12R 8・9 志賀(小山、宮崎、佐土原)

#### ●女子テニス部

- (7/25)8/3・長崎市かきどり庭球場
- 団体
- 松江北 0・2 高松中央(香川)
  - 個人単
  - 錦織(3R) 8・4 館(富山、富山国際)
  - 0・8 田中(東京、共栄学園)
  - 庄司(10R) 2・8 我妻(宮城、仙台東)
  - 複
  - 錦織・庄司 9・8 館・西田(富山、富山国際)
  - 2・8 中西・浜條(富山、富山国際)

#### ●空手道部

- (8/5)7・佐世保市体育文化館
- 男子個人形の部 予選7位 福本 隆介(8R)

#### ●水泳部(競泳)

- (8/17)20・長崎市民総合プール
- 男子200m個人メドレー 36位 田中 佑典(27R)
  - 男子400m個人メドレー 43位 田中 佑典

#### ●水泳部(飛込)

- (8/17)20・佐賀県総合運動場
- 女子高飛込 17位 又賀由美子(2R)
  - 女子飛板飛込 16位 又賀由美子

#### ●男子バドミントン部

- (7/28)8/2・シーハット大村
- 団体戦 松江北 0・3 川崎総合科学(神奈川県)
- 個人複 榎原(15R) 斎藤(28R) 〇・2 高田(福島、沼津方面)
- 単 玄行(28R) 2・0 太田(和歌山、新宮)
- 0・2 堀川(東京、関東)
- 男子ボート部
- (8/1)5・計上湾ボート場
- ダブルスカル 敗者復活戦敗退

#### ●女子ボート部

- (7R)青山、7R吉岡智
- (8/1)5・計上湾ボート場
- シングルスカル 準々決勝敗退
- ダブルスカル 準々決勝敗退 (12R)中井
- 舵手付クォドルプル 準決勝敗退
- (1R)磯田、2R林、5R上谷、5R南波、5R西川

#### ●写真部

- 全国総文祭福井大会
- (8/8)10・福井市生活学習館
- 奨励賞 若槻 宇多(18R)「光」
- 百人一首同好会
- (8/9)10・ハートピア春江
- 益田高校との合同チームで出場
- Dプロック
- 高根県 3・2 長野県
  - 高根県 0・5 東京都
  - 高根県 4・1 広島県
- 将棋(8/9)10・大野市
- 今西 一仁(10R) 初戦敗退
- 箏曲部(8/9)武生市文化センター
- 高校生フォーラムin倉吉(〇〇三)
- (8/5)7・倉吉未来中心
- プレゼンテーション 優秀賞
- 高校生英語弁論大会
- 日本国際センター 理事長賞
- (8/23)熊本県水前寺共済会館
- 大谷 佳代(29R)
- 全日本Jrテニス選手権大会
- (8/9)15・大阪駒公園
- 18歳以下 男子単
- ベスト8 星村 純平

## 全国定通大会報告

八月に行われました各競技の結果は、次のとおりでした。

今岡・剣道で日本一!!



- バスケットボール(東京体育館)
- 男子 松江北36・92愛知(瑞陵)
- バレーボール(東京体育館)
- 男子 松江北0・2岩手(釜石南)
- ソフトテニス(有明の森テニスコート)
- 男子 柳原・松尾 二回戦敗退
- 陸上(国立競技場)
- 木村優太 100m 200m 準決勝敗退
- 卓球(代々木第二体育館)
- 男子 岩田美保 一回戦敗退
- 女子 若田美保
- 一回戦3・0佐々木(北海道)
- 二回戦3・1村上(香川)
- 三回戦3・1鬼澤(千葉)
- 四回戦0・3中原(栃木)
- バドミントン(小田原アリーナ)
- 男子 内田創史:ベスト8
- 二回戦2・0飯島(京都)
- 三回戦2・0恵良(熊本)
- 四回戦2・1久松(奈良)
- 五回戦0・2石丸(佐賀)
- 女子 渡辺康江 三回戦敗退
- 剣道(日本武道館)
- 男子 今岡宏孝:優勝
- 一回戦 コ・メ 岸瑞(静岡)
- 二回戦 コ・メ 別当(滋賀)
- 三回戦 コ・メ 小河原(福岡)
- 四回戦 コ・メ 中西(広島)
- 準決勝 コ・メ 丸尾(神奈川)
- 決勝 コ・メ 小森(神奈川)
- 高野陸規:ベスト8
- 一回戦 コ・メ 木村(群馬)
- 二回戦 コ・メ 関口(茨城)
- 三回戦 コ・メ 浅井(岐阜)
- 四回戦 コ・メ 川上(東京)
- 準決勝 コ・メ 有馬(滋賀)



## 平成十五年度学園祭

### テーマは「変化育」



生徒会長 長野 祥子

今年の学園祭は、「変化育」というテーマの下、準備を進めていきました。このテーマには、これまで先輩方が築き上げてこられた伝統を受け継ぎながらも、自分たちの学園祭を創りあげていこう、という思いが込められています。

そして、私たちはこのテーマの通り、一人ひとりが主体となって学園祭に取り組み、素晴らしい三日間にする事ができました。

また、学園祭という場で学ぶことができるかけがえのないものを、たくさん吸収することができました。この経験を通じて北高生として誇りを持ち、それぞれに高校生活を一杯過ごしていきたいと思えます。



各期だより

一〇一人が参集  
四期の卒業五十年と古希  
記念同窓会

松高四期生(泉完次会長)の卒業五十周年と古希記念同窓会(佐々木郁雄代表世話人)が五月二十四日、松江市の「サンラポーむらくも」で開かれ、一〇一人が参集、久闊を叙した。前回の同窓会以来、この一年間に亡くなった四人の冥福を祈って黙祷、会長あいさつ、東京方面・関西地区在住者の近況報告などのあと、この四月島根県の産業技術センター所長に就任した尾野幹也君(元三菱マテリアル副社長)、三年前マレーシアのヨタキナバルにできた日本語学校で日本語を教えている岡谷恭子さん(旧姓松田)、さきごろNPO日本伝統芸能振興会の初代会長に就任した山本喜朗君(元鹿島石油副社長)らが近況報告した。三君の活躍ぶりは後日、地元の山陰中央新報のコラムでも紹介された。

当時の愛唱歌「大空はるか」斉唱のほか、ライトハウスライブラリーで朗読ボランティアをしている木村純子さん(旧姓四方)の指揮で谷川俊太郎の詩「生きる」を全員が朗唱するなど型破りな同窓会。世話人の多くが女性らしい細やかさも見せた。四期生の大半は試験管ペビーならぬ試験管学徒である。昭和十六年の最初の就学からして小学校ではなく国民学校。これは国家総動員法に呼応した学制改革でこの年から改称されたもので、入学した年の十二月太平洋戦争が始まった。五年生の夏に原爆が炸裂して終戦。町屋生まれは縁故疎開も体験した。六年卒業と同時に国民学校はなくなり、進学直前に六・三・三制がスタート。全員が新制中学に入学し、先輩がうらやむ男女共学をした。(男女席を同じうせず)は、筆者の場合、国民学校四年から六年生まで三年間だけ)。そして昭和二十五年、当時の松江高校に入学したが、先輩は旧制の松江中学や女学校入学の混成だったのに、四期生からは原則として新制生だけ。それまで松江一高、二高などと呼ばれていたのが、再度の赤山火災で校舎を失い、進駐軍の命令で統合されることになったものの校舎がなく、大橋川北側出身生は北校舎と呼んだ赤山のバラック校舎へ。橋南出身者は西川津の南校舎(現県立ブルー付近)に入学。入学式は合同で殿町の松江市公会堂で行われた。従って四期生の約半数は赤山最後の入学生で、先年枯れてなくなった

「双松」に深い思い入れを持っている者も多い。入学した年の十月、西川津の校舎が完成、それぞれが机や椅子を担いで引越しをした。この直前赤山最後の学園祭で、廃艇となったボートなどを燃やして赤山の空を焦がしたファイアストームは強烈な印象としてある。あれから半世紀余の歳月が流れ、この学園祭で主役だった二年先輩の藤脇久稔氏(春日神社宮司)も先年、故人となった。倫子夫人(旧姓福本)は四期で健在。(長)

八期四十五周年記念全国  
同窓会  
一〇六名が参加

八期同窓会は松江ゴルフ同好会の直会に有志が合流する形で始まり、以後毎年十一月二十三日に二クラス順番に幹事になって開催している。全国大会は二十五周年以後五年置きに行われ、平成十四年十一月二十三日は四十五周年記念同窓会となった。場所はホテル一畑平安の間。ロビーから既に再会を確認する握手と笑顔。恩師代表に兼折 博先生をお迎えし、全国各地から参集した男女一〇六名は、酒肴もそこそこに、四十五年を二時間で語り合うかの様であった。関東地区八期同窓会のホーム



▲声高らかに校歌斉唱

「卒業三十五周年記念同窓会を終えて」

快晴の八月十六日夕刻、五年毎の同窓会を開催致しました。この五年の間に母校では二本松の内残っていた一本も松喰い虫の被害を受け平成十三年秋に伐採を余儀なくされました。そして明けた春には野球部が二十一世紀枠で甲子園出場を果たしました。私達は五年毎に会場で最新の名簿を配布しているのですが、この度私達の入学試験問題の抜粋も併せて載せました。島根新聞のマイクロフィルムから拝借したので不鮮明な箇所もありましたが、何点取れていたのだろうかと今更ながら不安な思いに駆られました。私達は高校大学区制の初年度に当たっており紙面にはその良好な滑り出し等が記されておりましたが、そんな中の「最高点は〇〇高校の××君の八二二点」と言う記事には隔世の感を禁じ得ませんでした。そして最終頁には、残っていた最後の松の斧入れ式に三日先立つ平成十三年十月二十四日に当時の双松会井戸内正会長が「決別の辞」としてお話になった全文を掲載させて頂きました。同窓会の象徴の松は残念ながら失いましたが、伝統を受け継ぐ頼もしい後輩諸君のお陰で、私達は甲子園への予期せぬドライブの機会を得たり、かの地での束の間の再会をさせてもらいました。五年後は還暦の同窓会となります。一人も欠けること無く、多くの先生のお元気なお姿をお迎えし参集できることを願ってやみません。最後になりましたが、この度の同窓会にご来駕賜りました双松会の新会長松本幹彦先生、山田三郎先生、宅和 澄先生、井田幸男先生本当にありがとうございました。新制十九期事務局 吉金

平成十五年度 役員会報告

本年度の役員会は七月十九日(土)十時三十分より本校会議室に於いて井戸内会長を議長に、次の議題について審議が行われた。

- 一、平成十四年度会務報告並びに会計決算報告
二、平成十五年度会務計画並びに予算(案)審議
三、会報にかかわる補助金の利用計画・今後の会報編集・発行について
四、役員改選について
五、その他
議題一〜三については原案どおり承認された。四については井戸内会長の任期満了に伴い、選考委員の協議の結果、松本幹彦副会長の新会長就任が了承された。尚、常任幹事の選出方法について、以下の提案がなされ、承認された。

○常任幹事は、従前の常任幹事の他、松江北高校十三期以降の卒業生で構成する。選出に当たっては五つの期を単位とする。下記の(一)〜(七)の七卒業期区分から、それぞれ男女一名ずつ計二名を選出する。ただし、卒業後七年間については、期ごとの幹事(役員会の構成員)の選出はするが、常任

幹事の選出は行わない。常任幹事の選出は、平成十六年度の役員会までに完了を目指すものとする。

卒業期区分
(一) 13期 17期
(二) 18期 22期
(三) 23期 27期
(四) 28期 32期
(五) 33期 37期
(六) 38期 42期
(七) 43期 47期

平成十五年度双松会役員
顧問: 柴田午郎(松中44期)
兼折博(松中52期)
金築修(松中61期)
井戸内正松(中65期)

会長: 松本幹彦(松高1期)
副会長: 山本隆志(松高6期)
和田秀穂(北高校長)
幹事長: 影山一功(松高2期)
副幹事長: 田中竹二郎(松高13期)
常任幹事: 井原泰(松高3期)
庄司肇(松高11期)

7選考期×男女1名
ずつ計14名(平成16年度役員会までに決定)
監事: 山口榮一(松中67期)
古瀬誠(北高16期)
事務局長: 野津満(北高教頭)

※長年にわたって御尽力頂きました。誠にありがとうございました。今回退任の意向が示され、会長によって了承されました。

平成14年度双松会会計決算書

収入総額 4,565,291
支出総額 4,065,821
差引残高 499,470

Table with columns: 費目, 予算額, 決算額, 増減(Δ), 備考. Rows include 入会金, 繰越金, 雑収入, 合計, and detailed expense breakdowns like 会議費, 印刷費, etc.

平成15年度双松会会計予算書

Table with columns: 費目, 予算額, 昨年度予算, 増減(Δ), 備考. Rows include 入会金, 繰越金, 雑収入, 合計, and detailed expense breakdowns like 役員会補助, 印刷費, etc.

平成14年度会報編集助成金会計決算書

Table with columns: 費目, 金額, 備考. Rows include 助成金, 雑収入, 合計.

平成15年度予算書

Table with columns: 費目, 小分類, 前年度予算額, 本年度予算額, 備考. Rows include 繰越, 会費, 雑収入, 支出, 役員会費, 雑費, etc.

平成14年度決算報告

Table with columns: 費目, 小分類, 予算額, 決算額, 備考. Rows include 繰越, 会費, 雑収入, 支出, 役員会費, 雑費, etc.

通信制役員会報告

平成十五年通信制役員会報告

平成十五年通信制役員会が次のように行われました。

日時 七月五日(土)午後二時  
場所 松江市黒田町

出席 役員三〇名、学校側五名(和田校長、勝部教頭、佐藤、日野、細木各先生)

議事

- ①平成十四年度会務・決算・監査報告②平成十五年度会務計画案

本年度の進路状況

今春の進学状況について報告させていただきます。

昨年度史上初の六〇万人を突破した大学入試センター試験の志願者数は、本年更に七九七人増えて六〇万二、八八七人となり、二年連続で記録を更新しました。この背景には四年生大学卒が基本資格化する中で、長引く不況のあおりを受け授業料の安い国公立大学に人気が集まりました。生活費が安くすむ地元志向が高まっていること、更にセンター試験を利用する私立大学の数が増えている点等があげられます。

また、高校での総学習時間が減少する一方で、国公立大学の入試科目は来年度センター試験の五教科七科目をはじめめとして増加する方向に進んでいます。

予算案③役員追加改選(新副会長那須晴雄)

④全国定通制生活体験発表参加補助金一人一〇〇〇円(三、〇〇〇円へ増額)

以上について原案どおり了承されました。

その他

松江北高通信制ホームページは個人情報保護のため、一時閉鎖することになりました。

このような厳しい入試状況の中で、卒業生達は夢の実現に向けて最大限の努力をし、合格者の数だけでなく合格校の内容の面でも立派な成果を残してくれました。

「授業第一」の習慣を早くから確立し、高校総体では僅差で総合優勝を逃しましたが(女子総合は一位)その後の学習への切りかえも自主的に取り組み、目標を実現していった生徒達の逞しさを実感させてくれました。

進学状況につきましては、表に結果をまとめましたが、現浪合わせた幾つかの特徴を

あげてみます。東京大学合格者は五名、旧帝大合格者が合計四三名とやや残念ではありましたが、京都大学合格者が理学部合格者を含め現役で三名、九州大学合格者が一三名、地元島根大学には四九名、更に国立医学部合格者が岡山、広島を中心に一五名(岡山二名、広島四名、山口一名、鳥取四名、島根医科三名)と素晴らしい結果でした。私立大学では早稲田一名、慶應七名、関関同立九八名と難関大にも多数合格しました。また島根女短が一八名合格とかなり増加し、島根看護短をはじめとする看護医療系の大学、専門学校への合格者が増加しているのは昨年から続いている

特徴です。特筆すべきは今年も三年間部活動に頑張った諸君が、東京大学をはじめとする難関大に合格したこと。部活動との両立の実践はかなりの酷なものです。毎日の苦しさの中でやり抜こうという強い意志、実行力が涵養され生徒達の持っている資力が磨き上げられ、北高の文武両道の精神が生徒達に受け継がれていると意を強くした次第です。北高の「進路指導」生き方指導」並びに「伸びる、伸ばす」の姿勢を一層充実させていきたいと考えています。今後とも、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成15年度入試学校種別合格者延べ数及び就職者数(平成15年3月集計)

	平成13年3月			平成14年3月			平成15年3月		
	現	卒	計	現	卒	計	現	卒	計
国立大学	234	62	296	227	64	291	208	71	279
公立大学	46	13	59	58	13	71	39	8	47
私立大学	428	142	570	393	140	533	285	132	417
短期大学	43	7	50	40	4	44	56	4	60
専門学校等	21		21	31		31	29	4	33
就職				1		1	2		2
合計	772	224	996	750	221	971	619	219	838
クラス数	10			10			10		

五年の皆様へ  
来年は卒業五十周年を迎えます

(H生)



松高十期の皆様へ  
松高十期同窓会予告!  
代表幹事 物部 眞二

世話人会開催の結果、左記の通り同窓会を開催する事となりました。詳細決定の上、来年正式にご案内致します。

松高十期(昭和三十四年卒)  
卒業四十五周年記念同窓会  
期日 平成十六年  
九月二十日(祭日)